

# 撤収手順



Model 2000018377  
Model 2000023118

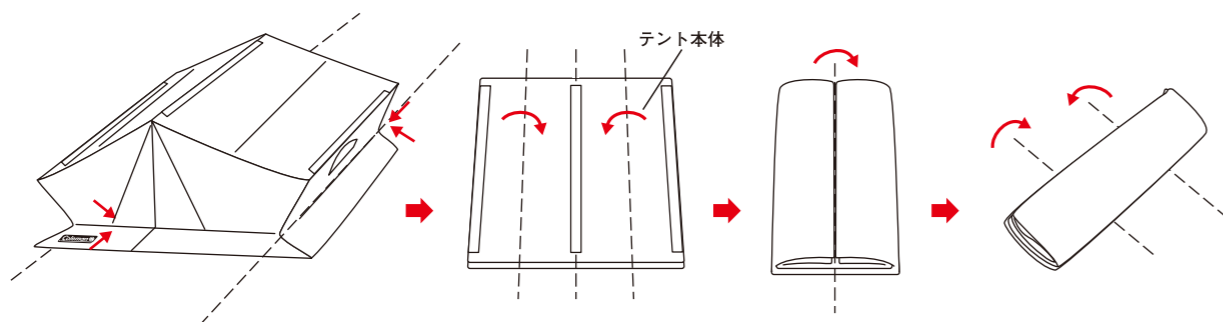


**注意**

テント本体にコットン素材を使用しています。汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。濡れたままの状態での保管すると、色移りやカビ発生の原因となります。

## STEP 1

テントを固定したペグ、トップポール、サポートポール、トップサイドポール、サポートサイドポールを完全に取り外し、下図のようにしてたたみ収納します。

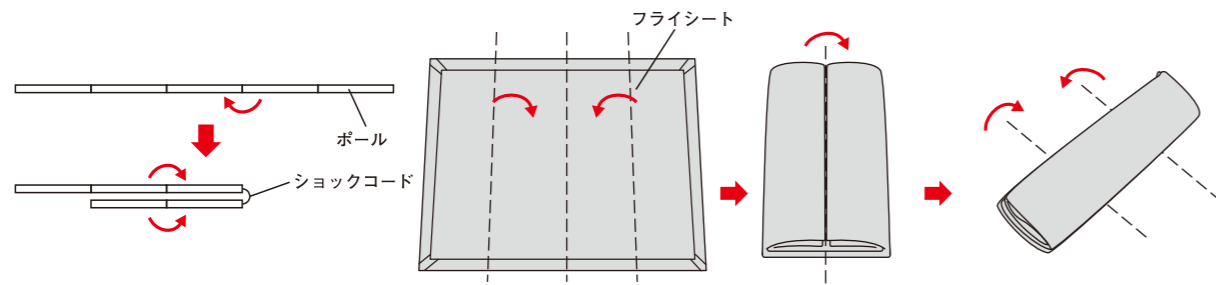


前部・後部ドア側、サイド側を内側に折り込んで長方形にする。

長方形を更に折り込み1/4のサイズにたたむ。

## STEP 2

ポールを全て折りたたみポールケースに収納します。フライシートも同様にしてたたみ、一緒に収納します。



**注意**

ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一に、テンションがかかり、ショックコードの寿命を伸ばす事が出来ます。

# OASIS / MINI

[オアシスミニ]

# OASIS TENT

[オアシステント]

## 取扱い・組立て説明書



この取扱い説明書は大切に保管してください。

コールマン ジャパン株式会社

お問い合わせ先

コールマンカスタマーサービス: **0120-111-957**

受付時間: 月曜日～金曜日 (祝祭日を除く) 10:00～17:30

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。テント設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、テントを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

## 組立・使用上の注意及び禁止事項

**危険** この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。

**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について  
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

## 収納・管理の注意

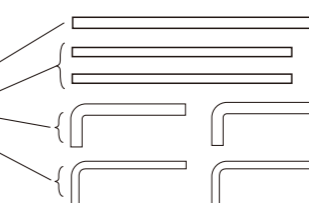
**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納すると、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置すると色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納すると腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

## 各部の名称・セット内容

**セット内容** お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- 本体(コットン) 1張
- フライシート 1枚
- トップポール (シルバー)太 1本
- サポートポール (シルバー)細 2本
- トップサイドポール (シルバー)太 2本
- サポートサイドポール(シルバー)細 4本
- 自在ロープ(グリーン) 6本
- 自在ロープ(ベージュ) 2本
- スチールピンペグ 20本
- ハンマー 1ヶ

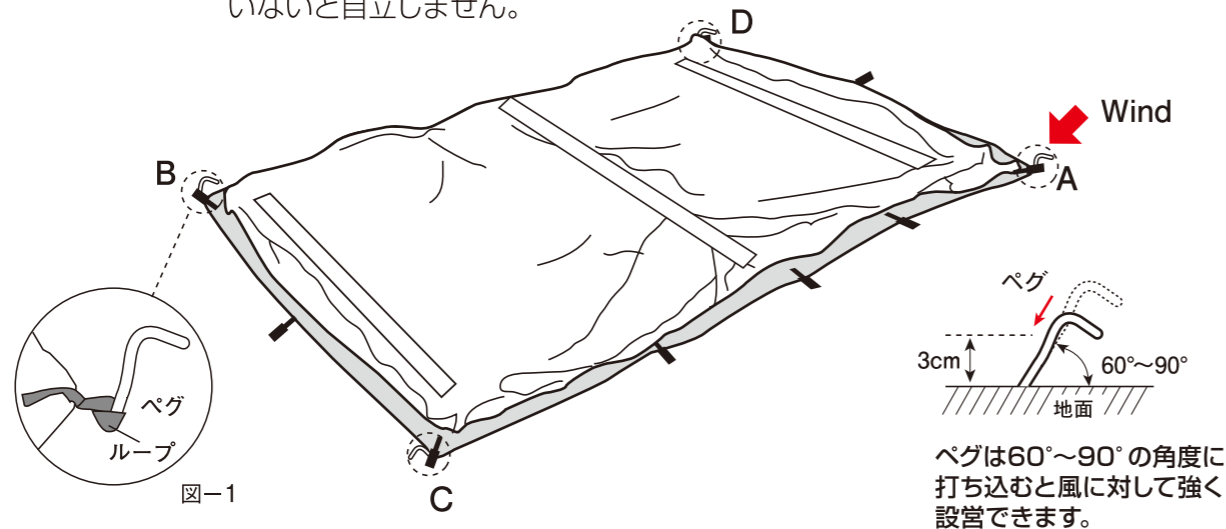


### 完成図



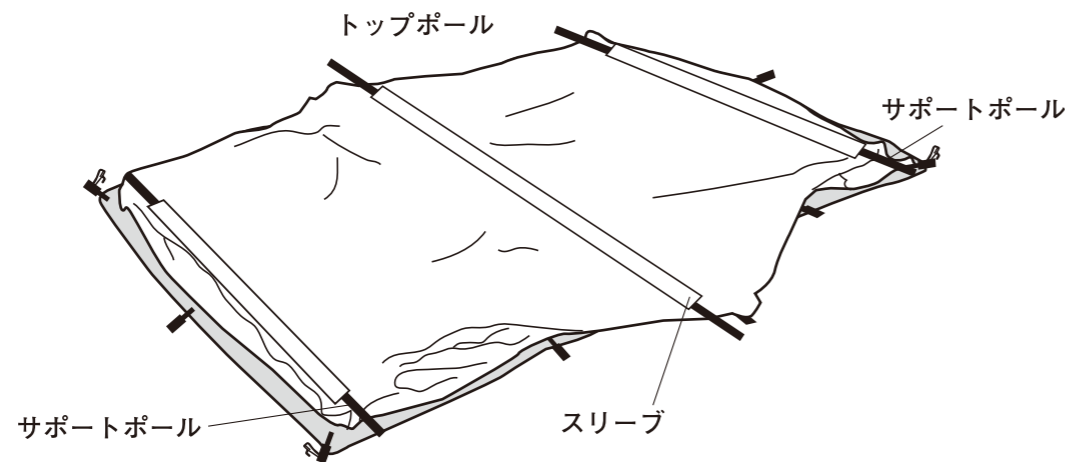
# 設営手順

**STEP 1** 設営位置を決め、4ヶ所のループを風上より順に (A~D) 対角線にスチールピンペグを打ちこみ、本体を固定します (図-1)。本体フロアがしっかり固定されていないと自立しません。



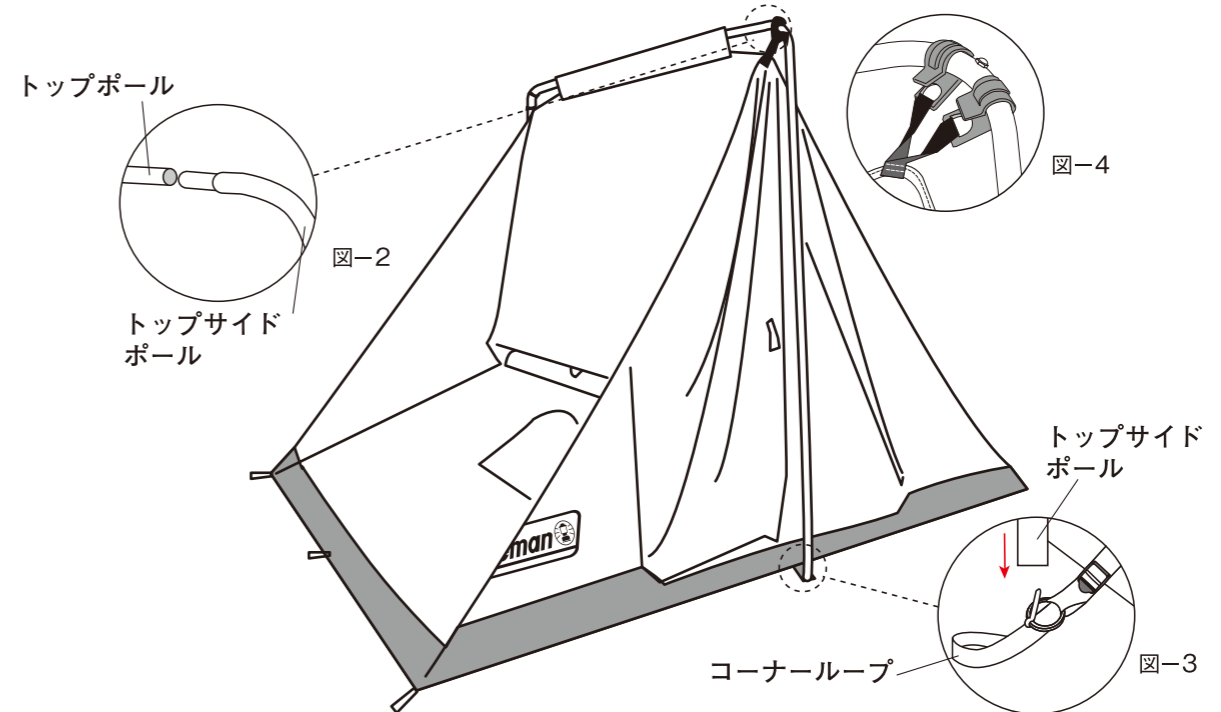
**注意** フロアシートにシワがなくなるように、テンションをかけながらペグ打ちしてください。

**STEP 2** トップポールとサポートポールを伸ばします。本体の中心にあるスリーブにトップポールを通します。左右のスリーブにサポートポールを通します。

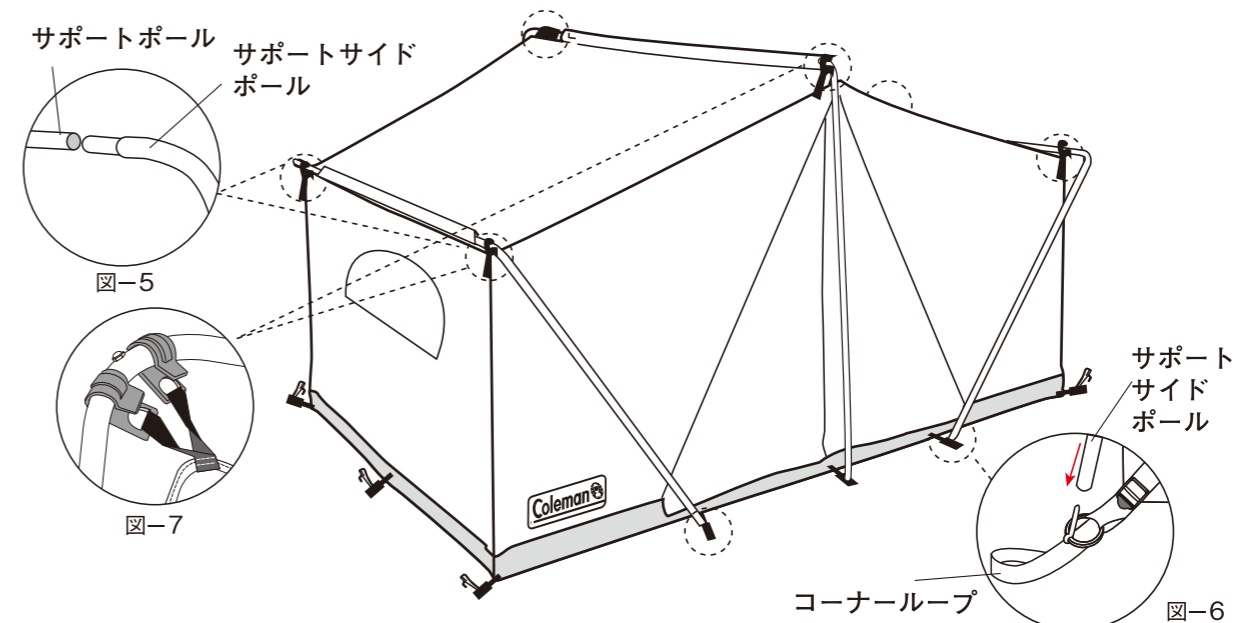


**注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。また、スリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

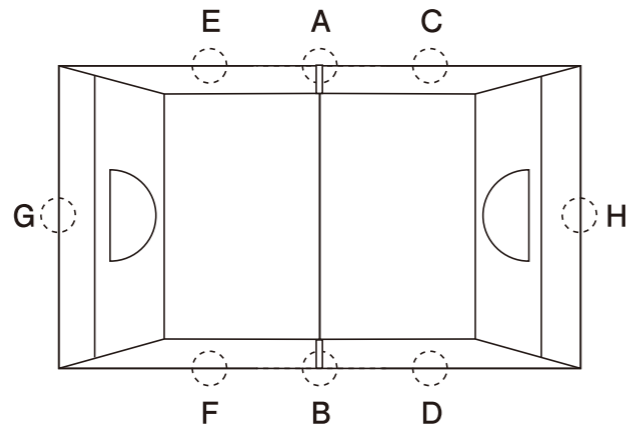
**STEP 3** トップサイドポールを伸ばします。トップポールを二人で持ちトップサイドポールをトップポールにセットし (図-2)、二人同時に上に持ち上げます。エンドピンをトップサイドポールに差し込み (図-3)、フックを付けます (図-4)



**STEP 4** サポートサイドポールを伸ばし、サポートポールにサポートサイドポールをセットし (図-5)、エンドピンをサイドポールに差し込み (図-6)、フックを付けます (図-7)。



**STEP 5** 8ヶ所のループにA~Hの順でペグを打ち込みます。



**STEP 6** フライシートに取り付けた自在ロープ (グリーン) (A)(B) を持ち、両側から二人でひっぱるようにテントの屋根にかぶせます (図-8)。トップサイドポールとサポートサイドポールにベルクロテープをかけます (図-9、10)。サポートポールにベルクロテープをかけます (図-11)。



**STEP 7** 各コーナーに、付属の自在ロープ (グリーン・ベージュ)、を結び (図-12)、ペグで固定します。

下図の要領にて8ヶ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグを打ち込み固定します。  
自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。

